

10.10 五割動員実現へ

各支部の組織化進む

日刊 動労千葉

84. 9. 25

No. 1750

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

動労千葉第9回定期大会は「三里塚・国鉄を基軸に中曽根内閣打倒」の方針を確立し、今秋「三里塚二期」、「国鉄」決戦の爆発をちとる突破口として、10・10三里塚への3・25五割動員を上まわる決起の実現を確認した。
すでに全支部において、執行委員会、職場集会、個別オルグ等、10・10へむけた組織化が全力で進められている。

10・10 五割動員実現で

「60・3」合理化を粉碎する

佐倉支部の闘い

（支部通 信員発）

佐倉支部は9月18日、15時より支部執行委員会を開催し、第9回定期大会の報告を行うとともに10・10三里塚五割決起を決定、堀口支部長を先頭に奮闘を開始した。

支部執行委員会で決定した具体的取り組みは、9月19日の職場集会を皮切りに、20日支部と乗務員会との合同役員会、及び支部と青年部との合同執行委員会、25日支部と検・修分科会との合同役員会、そして21日から23日までの青年部オルグ計画の貫徹である。

以上の当面する取り組みにもとづき、19日、51名の組合員が参加して職場集会が行われた。

田中書記長の司会のもと、冒頭あいさつにたった堀口支部長は「国鉄をめぐり、私達は厳しい立

場にあります。17日に『60・3』の概要提案があり、基地の見直し、検修見直し、乗務員の運用合理化攻撃がかけられています。支部の団結ではね返していきたい。そのはね返す力が10・10への参加にあります。3・25を上まわる参加をちとります。ましよう」とあいさつした。

本部の林特執は、「3・25五割決起が動労千葉と当局との力関係を決定づけている。10・10に3・25を上まわる最大限動員をちとろう」とあいさつし、参加者全員10・10への決起を決意する団結ガンバローを三唱して終了した。

佐倉支部は、10・10五割動員の実現をとおして、「60・3」合理化を粉碎する決意を明らかにする。

成田運転区廃止攻撃を阻止

した力で、10・10へ総決起する

成田支部の闘い

（支部通 信員発）

成田支部は9月10日に職場集会を開催し、国鉄

当局と動労「本部」革マル連合による成田運転区廃止策動を全組合員の力で阻止しぬいたことを確認するとともに、この力こそ「3・25五割動員」をやりぬいた馬力が基礎であり、さらに「60・3」ダイ改における成田運転区縮小攻撃を粉碎するた

めに、10・10へ総決起することを決意した。
支部は9月18日に第9回拡大執行委員会を開催し、10・10へむけた具体的取り組みについて再点検し、残された2週間、役員を先頭に全力をつくすことを決定した。

具体的取り組みは次のとおりである。

9月20～22日 全組合員対象の個別オルグ

9月26日 青年部学習会

10月1日 三里塚・菱田現地調査及び反対

同盟との交流会

10月4～6日 現地調査報告をかねた全組合員

オルグ

10月6日 拡大執行委員会（最終点検）

10月7日 支部・家族会の団結のこ狩り

於・富士山